



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月14日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東
 コード番号 3600 URL https://www.fjx.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 松尾 勇治 (TEL) 075(463)8111
 定時株主総会開催予定日 2025年6月27日 配当支払開始予定日 2025年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	5,646	△2.7	△195	—	△104	—	△107	—
2024年3月期	5,805	1.1	△115	—	△6	—	90	—

(注) 包括利益 2025年3月期 279百万円(△54.6%) 2024年3月期 614百万円(562.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	△78.34	—	△1.2	△0.9	△3.5
2024年3月期	65.50	—	1.0	△0.1	△2.0

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 一百万円 2024年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	11,862	10,185	79.6	6,860.81
2024年3月期	11,572	9,992	80.2	6,743.43

(参考) 自己資本 2025年3月期 9,444百万円 2024年3月期 9,283百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	144	△291	△91	1,777
2024年3月期	111	△94	△71	1,953

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	68	76.3	0.8
2025年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	68	△63.8	0.7
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00	—	△86.7	—

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	5,631	△0.3	△122	—	△45	—	△79	—	△57.69

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2025年3月期	1,468,093株	2024年3月期	1,468,093株
2025年3月期	91,485株	2024年3月期	91,485株
2025年3月期	1,376,608株	2024年3月期	1,376,644株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	2,674	△7.3	△200	—	△31	—	△42	—
2024年3月期	2,886	△3.0	△130	—	39	—	42	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	△30.93	—
2024年3月期	30.91	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	9,000	7,926	88.1	5,757.66
2024年3月期	8,854	7,859	88.8	5,709.67

(参考) 自己資本 2025年3月期 7,926百万円 2024年3月期 7,859百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 3
2. 企業集団の状況	P. 4
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
4. 連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 連結貸借対照表	P. 5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 7
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 13
(継続企業の前提に関する注記)	P. 13
(会計方針の変更)	P. 13
(セグメント情報等)	P. 13
(1株当たり情報)	P. 15
(重要な後発事象)	P. 15
5. その他	P. 15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、訪日外国人によるインバウンド需要の増加や雇用、所得環境の改善傾向も進み、回復基調が続きましたが、長引く国際紛争や中国経済の減速に加えて、米国の政策転換に対する影響やわが国の物価上昇などにより、個人消費の先行きを含めてむしろ不透明感が増しつつあります。

アパレル・ファッション業界におきましては、一部にはインバウンド需要の恩恵が見られたものの、コロナ禍後のいわゆるリベンジ消費の一巡や、記録的猛暑と冬の到来の遅れなどの気候要因、物価上昇による節約志向の高まりにより、衣料品の消費はまだら模様でその生産は全体として抑制傾向が続き、特に国内における衣料品の原材料や家庭用も含めた縫い糸の需要は低調が続きました。

一方で自動車生産の堅調に支えられて、車両内装用縫い糸の受注は比較的堅調に推移しました。

これらのわが国の関連業界の状況やアジア各国の経済情勢を受けて、当社グループは、中国を始め海外市場における新規販路の開拓に努めました。当連結会計年度の売上高は5,646百万円（前期比2.7%減）となりました。

また利益面につきましても、当社における価格改正や販売品目構成の変化、アジアセグメントにおける増収などの増益要因や、当期後半の中国連結子会社の操業度回復があったものの、日本セグメント全般の売上高の減少に加えて、国内工場操業度の低下や原材料価格の上昇などによる製造コストの高止まりが響いて、営業損失は195百万円（前期は115百万円の損失）、経常損失は104百万円（前期は6百万円の損失）となりました。

なお、当期には中国連結子会社の固定資産の譲渡益17百万円を特別利益に、タイ国連結子会社の移転統合に関する損失13百万円を特別損失にそれぞれ計上したこと、親会社株主に帰属する当期純損失は107百万円（前期は90百万円の利益）となりました。なお、前期には中国連結子会社の清算益76百万円を特別利益に計上したことにより、前期比の減益幅が大きくなっております。

当連結会計年度におけるセグメントごとの経営成績は次のとおりです。

日本

当社グループにおきましては、事業年度の末日を当社は3月末日、国内子会社は1月末日と定めております。

当期のアパレル・ファッション業界におきましては、一部にはインバウンド需要の恩恵が見られたものの、コロナ禍後のいわゆるリベンジ消費の一巡や、記録的猛暑と冬の到来の遅れなどの気候要因、物価上昇による節約志向の高まりにより、衣料品の消費はまだら模様でその生産は全体として抑制傾向が続き、特に国内における衣料品の原材料や家庭用も含めた縫い糸の需要は低調が続きました。

一方で自動車生産の堅調に支えられて、車両内装用縫い糸の受注は比較的堅調に推移しました。

これらの状況から、一昨年夏の夏以降実施した当社の一部商品の価格改正効果があったにもかかわらず、当社ならびに国内子会社全般の販売の落ち込みにより、当セグメントの売上高は、4,376百万円（前期比5.8%減）となりました。

また、利益面につきましても、当社における価格改正や販売品目構成の変化などの増益要因があったものの、当セグメント全般の売上高の減少に加えて、工場操業度の低下や原材料価格の上昇などによる製造コストの高止まりが響いて、セグメント損失は180百万円（前期は17百万円の損失）となりました。

アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当連結会計年度には、2024年1月から12月までの業績が連結されております。

当期は、日本向け衣料品の生産が中国からベトナムなど他国に移行する動きが続いているため、ベトナムにおきましては日本向け衣料品の生産が堅調ですが、中国やタイ国におきましては、それぞれの経済情勢から国内衣料品消費の落ち込みも加わり、縫い糸の受注は全般に低調が続きました。このような状況のなか、中国やベトナムにおきましては営業戦略の練り直しにより、新規販路の開拓に努めて、徐々にその成果も出始めたことや、円安進行に伴う為替換算レートの影響もあり、当セグメントの売上高は、1,269百万円（前期比9.5%増）となりました。

一方、利益面につきましては、当期の後半以降は、中国連結子会社の売上高の回復や工場操業度の上昇が見られたものの、販売競争の激化により、価格への転嫁が困難な状況に加えて、原材料価格の高止まりやタイ国での販売数量の落ち込みと生産の減少なども響いて、セグメント損失は42百万円（前期は91百万円の損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて28百万円減少し、6,719百万円となりました。これは、主として電子記録債権が48百万円、売掛金が53百万円、仕掛品が66百万円増加したものの、現金及び預金が69百万円、受取手形が63百万円、商品及び製品が28百万円、原材料及び貯蔵品が43百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて318百万円増加し、5,143百万円となりました。これは、主として有形固定資産が71百万円減少したものの、投資有価証券が274百万円、その他（投資その他の資産）が125百万円増加したことなどによります。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて290百万円増加し、11,862百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて13百万円減少し、587百万円となりました。これは、主として買掛金が34百万円増加したものの、未払法人税等が24百万円、その他（流動負債）が18百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて111百万円増加し、1,089百万円となりました。これは、主として繰延税金負債が100百万円増加したことなどによります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて97百万円増加し、1,677百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて192百万円増加し、10,185百万円となりました。これは、主として利益剰余金が176百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が177百万円、為替換算調整勘定が190百万円増加したことなどによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は1,777百万円となり、前連結会計年度末より175百万円減少いたしました。活動別キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純損失100百万円（前期は純利益73百万円）、法人税等の支払額58百万円（前期は25百万円）となったものの、減価償却費をはじめとする非資金項目225百万円（前期は214百万円）、棚卸資産の減少95百万円（前期は76百万円の増加）となったことなどにより、144百万円の流入（前期は111百万円）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入1,373百万円（前期は679百万円）となったものの、定期預金の預入による支出1,594百万円（前期は639百万円）、有形固定資産の取得による支出91百万円（前期は130百万円）となったことなどにより、291百万円の流出（前期は94百万円）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額68百万円（前期は68百万円）となったことなどにより、91百万円の流出（前期は71百万円）となりました。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、長引く国際紛争に加えて、米国の関税政策の成り行きが世界経済に大きな影響を及ぼすことが懸念され、わが国経済も予測が困難で、ますます不透明感が強まっております。

当社グループが関連するアパレル・ファッション業界や手芸関連業界におきましても、このような先行き不透明な経済情勢や、引き続き物価高が国内消費の減退を招くことが懸念されるほか、米国向けビジネスの停滞などが、アジアセグメントにおける競争の激化やデフレ傾向に繋がることも懸念されます。

このような中、当社グループといたしましては、損失の縮小を喫緊の課題として、様々な事業の再構築や見直しに取

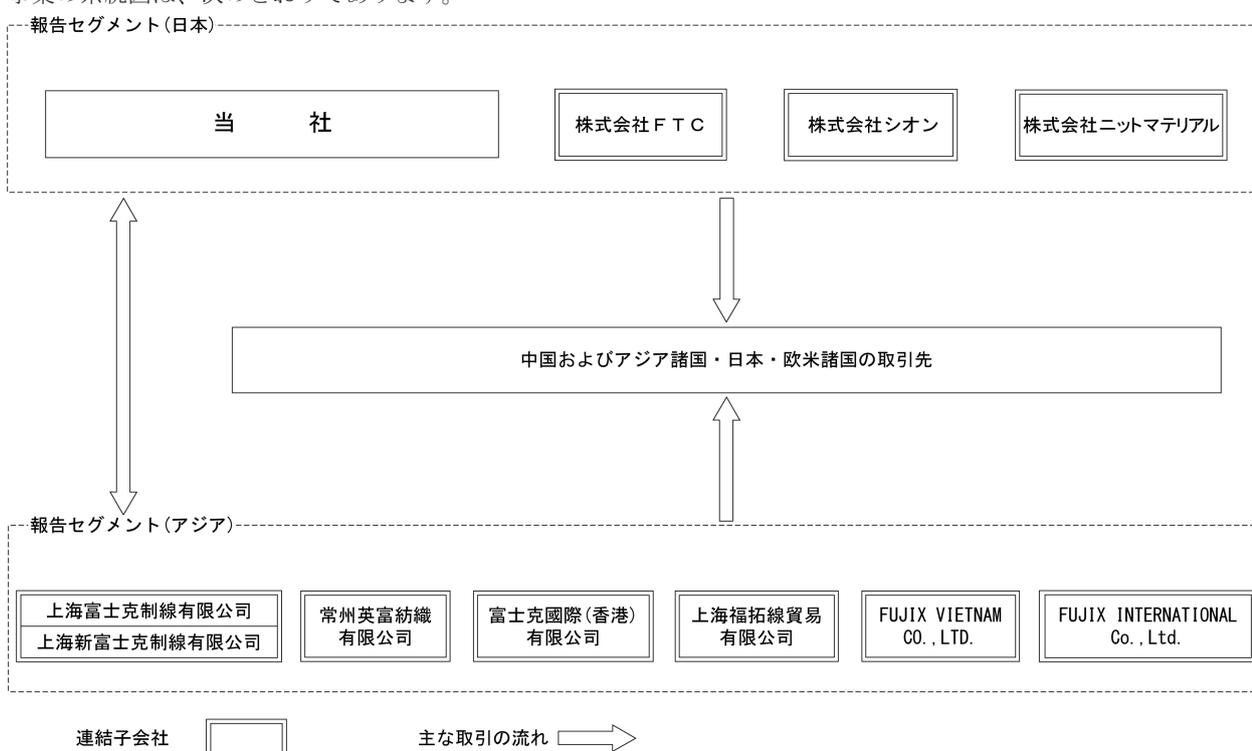
り組んでおり、次期には徐々に成果も現れることが見込まれます。また、今後は経営環境のさらなる悪化懸念は拭えませんが、将来の再成長を見据えた中長期の課題にも全力で取り組んでまいります。

これにより次期の連結業績につきましては、売上高5,631百万円（前期比0.3%減）、営業損失122百万円（前期は195百万円の損失）、経常損失45百万円（前期は104百万円の損失）、親会社株主に帰属する当期純損失79百万円（前期は107百万円の損失）を予想しております。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社及び連結子会社10社（株式会社FTC、株式会社シオン、株式会社ニットマテリアル、上海富士克制線有限公司、上海新富士克制線有限公司、富士克国際（香港）有限公司、上海福拓線貿易有限公司、常州英富紡織有限公司、FUJIX VIETNAM CO., Ltd.、FUJIX INTERNATIONAL Co., Ltd.）の計11社により構成されており、縫い糸、刺しゅう糸及び手芸用各種糸の製造販売を主な事業とし、日本、中国を主とするアジア諸国及び欧米諸国の市場に向けてグローバルな事業活動を行っております。

事業の系統図は、次のとおりであります。



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成いたします。なお、今後の国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮しながら検討を進めていく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,607,834	2,538,547
受取手形	190,897	127,309
電子記録債権	226,315	274,797
売掛金	860,004	913,726
商品及び製品	1,404,446	1,376,305
仕掛品	893,590	960,090
原材料及び貯蔵品	510,404	467,303
その他	57,109	64,916
貸倒引当金	△2,838	△3,499
流動資産合計	6,747,764	6,719,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,083,337	4,242,063
減価償却累計額	△2,273,276	△2,455,992
建物及び構築物(純額)	1,810,060	1,786,070
機械装置及び運搬具	1,994,391	2,092,408
減価償却累計額	△1,684,330	△1,824,033
機械装置及び運搬具(純額)	310,061	268,374
土地	369,514	369,514
リース資産	31,253	10,453
減価償却累計額	△31,253	△10,453
リース資産(純額)	—	—
その他	267,527	279,824
減価償却累計額	△225,613	△243,815
その他(純額)	41,913	36,008
有形固定資産合計	2,531,549	2,459,968
無形固定資産		
投資その他の資産	219,628	228,617
投資有価証券	1,708,805	1,983,404
長期前払費用	4,927	2,177
繰延税金資産	4,575	3,115
退職給付に係る資産	109,913	96,011
その他	246,518	372,304
貸倒引当金	△1,144	△2,101
投資その他の資産合計	2,073,596	2,454,911
固定資産合計	4,824,774	5,143,497
資産合計	11,572,538	11,862,995

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	341,318	375,857
未払金	104,093	102,118
未払法人税等	30,836	6,521
契約負債	3,290	3,151
賞与引当金	42,465	39,093
その他	79,116	60,799
流動負債合計	601,119	587,542
固定負債		
繰延税金負債	657,194	757,942
役員退職慰労引当金	226,270	245,041
退職給付に係る負債	56,212	48,494
資産除去債務	32,788	32,788
その他	5,958	5,396
固定負債合計	978,424	1,089,662
負債合計	1,579,544	1,677,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	771,087	771,087
利益剰余金	6,078,728	5,902,052
自己株式	△109,415	△109,415
株主資本合計	7,663,725	7,487,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	838,638	1,016,116
為替換算調整勘定	724,764	915,291
退職給付に係る調整累計額	55,933	26,185
その他の包括利益累計額合計	1,619,335	1,957,593
非支配株主持分	709,933	741,147
純資産合計	9,992,994	10,185,790
負債純資産合計	11,572,538	11,862,995

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	5,805,692	5,646,425
売上原価	4,353,618	4,291,445
売上総利益	1,452,073	1,354,980
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	104,934	96,393
広告宣伝費	6,072	5,903
販売促進費	40,567	49,602
貸倒引当金繰入額	1,058	2,674
役員報酬	97,402	97,950
給料及び手当	562,917	560,320
従業員賞与	56,365	55,938
賞与引当金繰入額	24,771	22,815
退職給付費用	26,409	12,986
役員退職慰労引当金繰入額	14,147	18,770
法定福利費	92,504	94,762
賃借料	47,268	47,556
支払手数料	71,170	68,548
旅費及び交通費	39,144	36,933
減価償却費	71,752	71,607
研究開発費	78,185	89,550
その他	233,330	218,502
販売費及び一般管理費合計	1,568,001	1,550,813
営業損失(△)	△115,928	△195,833
営業外収益		
受取利息	7,468	8,189
受取配当金	39,246	49,176
補助金収入	32,837	22,570
賃貸料収入	24,135	24,327
売電収入	9,279	8,592
その他	14,091	15,813
営業外収益合計	127,057	128,668
営業外費用		
賃貸料収入原価	10,446	11,319
為替差損	—	17,993
売電費用	4,034	3,929
事業準備費用	—	4,356
その他	2,748	59
営業外費用合計	17,229	37,658
経常損失(△)	△6,100	△104,822

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	4,634	17,641
子会社清算益	76,838	—
特別利益合計	81,473	17,641
特別損失		
固定資産売却損	67	2
固定資産除却損	2,215	103
移転損失	—	13,068
特別損失合計	2,282	13,174
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	73,090	△100,355
法人税、住民税及び事業税	41,291	25,779
法人税等調整額	△25,875	△4,533
法人税等合計	15,415	21,246
当期純利益又は当期純損失(△)	57,675	△121,601
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△32,493	△13,755
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	90,168	△107,845

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	57,675	△121,601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	426,365	177,478
為替換算調整勘定	60,353	253,005
退職給付に係る調整額	69,915	△29,747
その他の包括利益合計	556,634	400,736
包括利益	614,309	279,135
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	613,054	230,412
非支配株主に係る包括利益	1,254	48,722

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	923,325	771,087	6,057,393	△109,313	7,642,493
当期変動額					
剰余金の配当			△68,833		△68,833
親会社株主に帰属する 当期純利益			90,168		90,168
自己株式の取得				△102	△102
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	21,334	△102	21,232
当期末残高	923,325	771,087	6,078,728	△109,415	7,663,725

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	412,272	698,158	△13,982	1,096,448	725,112	9,464,054
当期変動額						
剰余金の配当						△68,833
親会社株主に帰属する 当期純利益						90,168
自己株式の取得						△102
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	426,365	26,605	69,915	522,886	△15,178	507,707
当期変動額合計	426,365	26,605	69,915	522,886	△15,178	528,940
当期末残高	838,638	724,764	55,933	1,619,335	709,933	9,992,994

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	923,325	771,087	6,078,728	△109,415	7,663,725
当期変動額					
剰余金の配当			△68,830		△68,830
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△107,845		△107,845
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△176,676	—	△176,676
当期末残高	923,325	771,087	5,902,052	△109,415	7,487,049

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	838,638	724,764	55,933	1,619,335	709,933	9,992,994
当期変動額						
剰余金の配当						△68,830
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)						△107,845
自己株式の取得						—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	177,478	190,527	△29,747	338,258	31,213	369,472
当期変動額合計	177,478	190,527	△29,747	338,258	31,213	192,795
当期末残高	1,016,116	915,291	26,185	1,957,593	741,147	10,185,790

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	73,090	△100,355
減価償却費	243,053	249,637
固定資産売却損益(△は益)	△4,567	△17,639
固定資産除却損	2,215	103
貸倒引当金の増減額(△は減少)	918	1,387
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,378	△3,371
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	197	18,770
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△31,147	△15,846
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,136	△7,718
受取利息及び受取配当金	△46,714	△57,366
子会社清算損益(△は益)	△76,838	—
売上債権の増減額(△は増加)	101,300	△3,554
棚卸資産の増減額(△は増加)	△76,125	95,106
仕入債務の増減額(△は減少)	△111,584	16,836
その他	4,396	△26,086
小計	81,953	149,904
利息及び配当金の受取額	54,458	53,947
法人税等の支払額	△25,218	△58,909
営業活動によるキャッシュ・フロー	111,193	144,943
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△639,370	△1,594,654
定期預金の払戻による収入	679,190	1,373,484
有形固定資産の取得による支出	△130,893	△91,308
有形固定資産の売却による収入	4,567	17,970
無形固定資産の取得による支出	△13,641	△2,994
その他	6,021	5,792
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94,126	△291,709
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△102	—
配当金の支払額	△68,407	△68,936
非支配株主への配当金の支払額	△2,756	△22,388
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,266	△91,324
現金及び現金同等物に係る換算差額	33,357	62,606
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△20,841	△175,484
現金及び現金同等物の期首残高	1,974,326	1,953,484
現金及び現金同等物の期末残高	1,953,484	1,777,999

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象としているものであります。

当社グループは、縫い糸、刺しゅう糸及び手芸用各種糸を生産・販売しており、「日本」においては、当社及び国内連結子会社3社が、「アジア」においては、海外連結子会社7社がそれぞれ担当しております。また、これらの海外連結子会社は、それぞれが相互に連携して、「アジア」の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」及び「アジア」の2つを報告セグメントとしております。

なお、前第2四半期連結会計期間において、連結子会社であった上海富士克貿易有限公司は清算に伴い、連結の範囲から除外しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成において採用している方法と概ね同一であります。なお、報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,645,984	1,159,707	5,805,692	—	5,805,692
外部顧客への売上高	4,645,984	1,159,707	5,805,692	—	5,805,692
セグメント間の内部売上高又は振替高	286,518	680,399	966,917	△966,917	—
計	4,932,503	1,840,106	6,772,609	△966,917	5,805,692
セグメント損失(△)	△17,086	△91,730	△108,816	△7,111	△115,928
セグメント資産	9,395,812	3,395,237	12,791,050	△1,218,511	11,572,538
その他の項目					
減価償却費	142,794	100,259	243,053	—	243,053
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	120,232	27,473	147,705	—	147,705

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

(2) セグメント資産の調整額は、主にセグメント間消去によるものです。

2 セグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 当社グループにおいては、負債に関する情報が最高経営意思決定機関に定期的に提供されず、また使用されていないため、報告セグメントごとの負債の金額の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,376,916	1,269,509	5,646,425	—	5,646,425
外部顧客への売上高	4,376,916	1,269,509	5,646,425	—	5,646,425
セグメント間の内部売上高又は振替高	189,185	675,499	864,685	△864,685	—
計	4,566,102	1,945,009	6,511,111	△864,685	5,646,425
セグメント損失(△)	△180,207	△42,256	△222,464	26,630	△195,833
セグメント資産	9,484,116	3,499,162	12,983,279	△1,120,284	11,862,995
その他の項目					
減価償却費	160,105	89,531	249,637	—	249,637
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	92,383	1,919	94,303	—	94,303

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

(2) セグメント資産の調整額は、主にセグメント間消去によるものです。

2 セグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 当社グループにおいては、負債に関する情報が最高経営意思決定機関に定期的に提供されず、また使用されていないため、報告セグメントごとの負債の金額の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	6,743円43銭	6,860円81銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	65円50銭	△78円34銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	90,168	△107,845
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 損失(△)(千円)	90,168	△107,845
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,376	1,376

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

役員の変動

役員の変動につきましては、本日発表の「役員人事に関するお知らせ」をご覧ください。